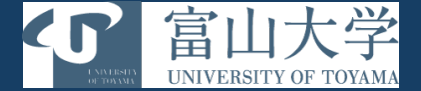


小児慢性特定疾病「嚢胞性リンパ管腫」の治療抗体開発を推進する 創薬スタートアップの設立

2025年度ステップ2



事業化推進機関(代表):三菱UFJキャピタル株式会社

研究代表者:富山大学 学術研究部医学系 准教授 山本 誠士

Problem

小児慢性特定疾患 嚢胞性リンパ管腫 (リンパ管奇形)



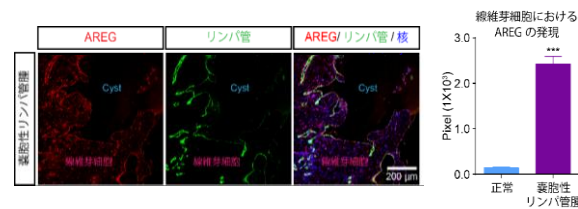
- ・ 巨大な頸部顔面病変が特徴の難病
- ・ 出生時から症状出現、難治性疾患
- ・ 頸部の巨大な病変は、呼吸困難などの生命にかかわる重篤な症状
- ・ 整容面、身体活動において多大な不便
- ・ 日本国内の患者数は推定1万人 (重度な患者は1,000人程度)

分子メカニズムが”不明”であり、
既存の治療法は効果が”限定的”

Technology

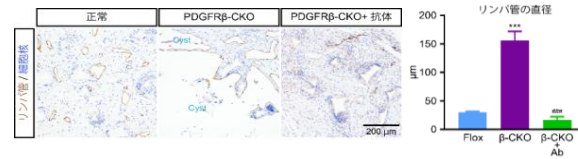
嚢胞性リンパ管腫の原因物質の解明

○患者組織でのAREGの発現状態



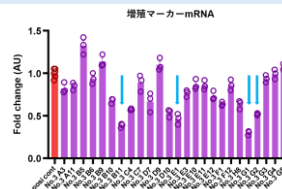
嚢胞性リンパ管腫の原因物質が
アンフィレギュリン(AREG)
であることを解明!!

○マウスモデルにおける抗AREG抗体投与によるリンパ管の直径



マウスモデルにおいて
抗AREG抗体の
高い治療効果を確認!!

完全ヒト抗体の開発に着手



In vitro評価で高い阻害活性!

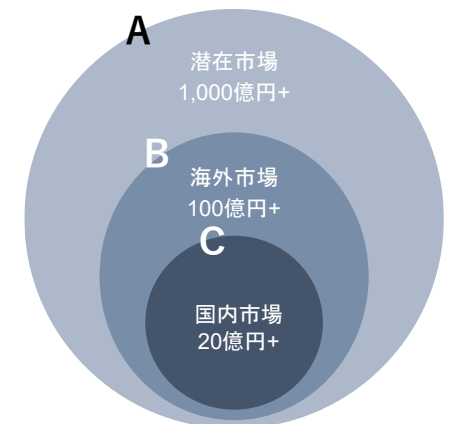
Market

A.抗アンフィレギュリン抗体 潜在市場×10

B.嚢胞性リンパ管腫 (米欧)×5

C.“Gate Indication”としての 嚢胞性リンパ管腫 (国内)

- ・ 対象患者: 約1,000人と推定
- ・ 1日薬価: 5,000円程度と推定
- ・ 1人当たり年間薬価: 1,800千円
- ・ 売上: **約20億円**



スタートアップ設立予定時期:2029

ターゲット市場:グローバル